

生物多様性横浜行動計画（ヨコハマプラン） 具体的取組実績一覧

【目標】は2017年度（H29）末または2014～2017（H26～H29）年度の4か年の目標値を記載（各方針）

方針1 ～普及啓発～

(1) 人づくりと場づくりの推進

普及啓発			
頁番	主な取組	取組目標	2014年度の取組実績例
1	身近な自然環境の広報	推進	・イベントや市のホームページを活用し、市民の森の魅力をPR ・公共交通機関と連携した横浜つながりの森のPRの実施
2	環境行動の実践に向けた広報・啓発 [重点アピール1]	推進	知ろう！伝えよう！生きもののつながりキャンペーンの開催（5、6月）
3	生物多様性に配慮した消費行動の啓発 [重点アピール1]	推進	・環境教育出前講座「生物多様性でYES!」や、イベントの場を活用し、地産地消を含む生物多様性に配慮した消費行動を推進
4	「横浜つながりの森」におけるエコツーリズム [重点アピール3]	推進	・自然観察センターやウェルカムセンター等の各主要施設において、横浜つながりの森散策マップ及び紹介パネルによりPRを実施 ・ハイキングルートに関するルール・マナーを検討
5	体験フィールドの活性化～横浜の森プロモーション～ [重点アピール3]	推進	・横浜つながりの森のイベント紹介チラシの作成・配布（10月、1月） ・区民祭りで横浜つながりの森をPR ・公共交通機関と連携した広報や、地域情報紙等を活用した広報を展開
6	森の楽しみづくり	イベント実施及び広報活動 144回	森に関わるイベント等の実施：107回
7	森に関する情報発信	・新規に指定された市民の森等のガイドマップ作成 ・ウェルカムセンターの運営推進	・市民の森・ふれあいの樹林ガイドマップ3地域作成 ・ウェルカムセンター運営（推進）
8	市民の守りたい、伝えたい谷戸環境の広報 [重点アピール1]	推進	・民間企業主催の里山・里海イベントで、谷戸環境などについてPR（3月） ・市内の谷戸環境をPRするためのWebページを開設
9	庁内横断による谷戸環境の積極的活用 [重点アピール1]	推進	・貴重な谷戸環境をイベント等を通じてPR（3月） ・谷戸環境の活用に関与するツールとして、Webページを開設
人材育成			
10	生物多様性でYES！ [重点アピール1]	参加者数 10,500人/年	・受講団体の募集を小学校と放課後児童育成施設へ実施 プログラム数：40 受講者数：8,180人
11	環境教育に携わる指導者への支援 [重点アピール1]	推進	講師を対象とした、スキルアップ研修の実施：1回
12	環境教育に先進的に取り組む学校への支援	推進	12校を新たに環境教育実践推進校として指定し、環境教育研修会やエコフォーラム等で本取組を発信（H17～H26の累計56校）
13	森づくりを担う人材の育成	推進	・森づくり活動団体向けの研修の実施：16回 ・森づくり活動団体や森づくりボランティアによる検討会議を開催 ・「よこはまの森ニュースレター」の発行：4回
団体の支援			
14	活動団体への支援 [重点アピール1]	推進	・5団体に環境保全活動団体助成金を交付 ・横浜環境活動賞では、受賞者10団体・企業を審査の上決定
15	森づくり活動団体への支援	・活動団体への支援（市民の森等）：延べ40団体 ・活動団体への支援（公園）：延べ40団体	・市民の森等で活動する森づくり活動団体への支援：22団体 ・公園内のまとまった樹林で活動する森づくり活動団体への支援：7団体
場づくり			
16	魅力ある公園の新設・再整備	新設・再整備公園数 延べ320か所	新設・再整備 57か所
17	地産地消にふれる機会の拡大	・直売所等の支援：42件 ・青空市運営支援：20件	・直売所等の支援：4件 ・青空市運営支援：4件
18	様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	・市民農園の開設 4.8ha ・収穫体験農園の開設 10.0ha ・農園付公園の整備 6.7ha	・市民農園の開設 2.8ha、収穫体験農園の開設 1.5ha、農園付公園の整備 1.4ha
19	市民が農を楽しむ支援する取組の推進	・農体験教室などの実施 400回 ・農ある横浜・あくりツアーの開催 16回 ・農のある地域づくり協定の締結 3件 ・農体験講座の開催 20回	・横浜ふるさと村、恵みの里で農体験教室などの実施 94回 ・農ある横浜・あくりツアーの開催 3回 ・農のある地域づくり協定：ワークショップ開催 ・家族で学ぶ農体験講座の開催 5回

(2) 様々な主体や組織間の連携による施策の展開

20	多岐にわたる分野とのコラボレーションの推進 [重点アピール1]	推進	・民間企業の里山イベントに出展し、横浜の里山環境について紹介 ・スポーツチームと協力し、環境活動に関する普及啓発の実施（5月～9月） ・他分野が行うイベント等に後援等の実施
21	連携・交流のプラットフォームづくり [重点アピール1]	推進	市の業務研究・改善事例発表会において、生物多様性に関する取組を発表・周知
22	森を支えている活動団体のつながりの強化 [重点アピール3]	研修など交流の場を推進	森づくり活動団体による検討会議の開催等を通じてつながりの構築を推進
23	「横浜つながりの森」の調整機能の充実・体制の強化を推進 [重点アピール3]	推進	・横浜つながりの森イベント紹介チラシの作成・配布による情報共有の推進（10月、1月） ・つながりの森関係区局による情報共有会議を開催（8月）
24	自然体験活動の推進	推進	・市民団体と連携した青少年向け自然社会体験プログラムの実施：1,524人 ・社会資源等を活用した自然・社会体験プログラムの実施：179人

(3) 外来種に関する普及啓発

25	外来種に関する普及啓発	推進	・主催のイベントで剥製やパネルの展示、リーフレットの配布、ワークショップ等により普及啓発を実施 ・市職員研修で外来生物に関する啓発を実施（8月）
----	-------------	----	---

(4) 動物園等での環境教育

26	動物園等における環境教育	環境教育事業数330件/年	・動物園で環境教育事業：352件 ・繁殖センターへの一般施設見学4件/大学、教育機関等の施設見学：13件
----	--------------	---------------	---

方針2 ～保全・再生・創造～

(1) 保全を中心とした取組

緑や農地の保全と維持管理

27	水田の保全	・水田の保全承認 123ha ・水源の確保8か所	水田の保全承認 119.7ha 水源の確保：1か所
28	農景観を良好に維持する取組の支援	・良好に維持されている農地の面積 680ha ※2014～2018年度まで ・水路機能の維持 4地区 ・土砂流出対策 4か所/年	・良好に維持されている農地の面積 704.3ha ・水路機能の維持 1地区 ・土砂流出対策 10か所
29	瀬上池の生物多様性を守る～瀬上池の未来づくり～ [重点アピール3]	推進	・「瀬上市民の森環境改善整備工事」のための測量・調査業務等の実施 ・瀬上市民の森環境改善事業について、瀬上市民の森保全協議会の開催
30	緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	緑地保全制度による指定400ha	緑地保全制度による指定の拡大 101.7ha 緑地保全制度による買取り 18.2ha
31	森づくりガイドライン等を活用した森の育成	・ガイドライン等を活用した維持管理 推進 ・保全管理計画策定樹林地12か所、公園8か所	・森づくりガイドラインを活用した維持管理 樹林地：109か所、公園：11か所 ・保全管理計画の策定 樹林地：3か所、公園：5か所
32	生物多様性に配慮した防災性・安全性の向上	法面の整備8か所	法面の整備：施工中1か所

希少野生動物の保護・繁殖

33	国際的な希少動物の保全の取組と国際貢献	推進	・繁殖センターからインドネシアへ専門家2名を派遣し技術指導を実施、研修生受入4名 ・東南アジア動物園協会総会（台湾開催）で講演（10月） ・市民向けシンポジウムを横浜で開催（1月）
34	横浜市及び国内に生息する希少動物の保全の取組	推進	・市内産カエル2種を導入し飼育繁殖技術の研究を開始 ・ニホンライチョウ飼育繁殖技術確立のため、近縁種スバルバルライチョウ9羽の繁殖に成功 ・国内産希少種であるミゾゴイの飼育繁殖技術の研究のため雌1羽を導入
35	希少動物の保全に関する研究の推進	繁殖センターが行う研究件数40件	・国立環境研究所、大学等と共同研究を実施 12件 ・市立3動物園との共同研究（22件）繁殖センター単独の調査研究（8件） ・市立3動物園飼育動物のDNA解析による雌雄判別検査を実施
36	身近な動物・傷病鳥獣に関する啓発の推進	講座回数20回	・来園者を対象とした講座「エコ森教室」の開催 ・野生傷病鳥獣保護事業の専門家の講演と動物病院の見学をセットにした講座を開催
37	横浜に生息する生き物体験施設の整備 [重点アピール3]	推進	「日本の森」ゾーンの基本設計を実施
38	指定・登録文化財の保護育成	推進	・国指定天然記念物ミヤコナゴ保護増殖事業及び生息環境調査事業の実施 ・ゲンジボタル生息地の環境整備の実施

外来種への対策

39	アライグマ・タイワリスによる被害への対策	推進	・アライグマ捕獲数：415頭 ・タイワリス捕獲数：191頭 ・捕獲檻の補充
----	----------------------	----	---

(2) 再生を中心とした取組

40	生物多様性に配慮した公園整備	推進	公園緑地の整備に際し、現場条件に合わせ鳥類や昆虫などに配慮した樹種を選定・植栽
41	公園における順応的管理の推進	推進	森づくりガイドラインを活用した樹林地や公園の維持管理を実施し生物多様性多様性の保全、向上
42	旧小柴貯油施設跡地の公園活用 [重点アピール3]	工事着手	基本計画を策定し、これを踏まえて環境影響評価手続に着手
43	生物多様性に配慮した河川・雨水調整池の管理	実施	・関係区局によるプロジェクトにより、雨水調整池ビオトープ維持管理の研修会の開催 ・雨水調整池ビオトープ担当者会議を開催
44	水辺拠点の整備	水辺拠点の整備3か所	水辺拠点 1 か所整備
45	多自然川づくり	推進	推進
46	多様な生き物を育む場づくり(アユが遡上する川づくり) [重点アピール4]	帷子川モデルプランの策定	・生物多様性に配慮した川づくりの推進の仕組み等について基本方針(案)を策定 ・帷子川をモデルにアクションプラン(案)を策定 ・アユの遡上状況及び魚類等の生息状況調査の実施
47	宅地等における雨水浸透、貯留の推進	・雨水貯留タンク設置への助成 300個/年 ・宅内雨水浸透ます設置への助成 50個/年	・雨水貯留タンク設置助成制度により、280個に対して助成金を交付 ・宅内雨水浸透ますを設置する建築物の所有者を対象に9個の助成を実施
48	公園愛護会・水辺愛護会との連携	・公園愛護会の活動支援2,457団体 ・水辺愛護会の活動距離60,198m	・公園愛護会の活動支援 2,432団体 ・水辺愛護会の活動距離 59,068m(93団体)、交流会の開催
49	街路樹における樹種の配慮等	高木130,000本	実施 高木130,000本

(3) 創造を中心とした取組

50	地域緑のまちづくり	46地区で推進 ※2014~2018年度まで	6地区と新たに協定を締結し、計22地区で緑化活動に助成等の支援を実施
51	都心臨海部の緑花による賑わいづくり	推進	・みなとみらい21地区から山下公園を中心とした6か所で、緑花による魅力・賑わいづくりを推進 ・山下公園、グランモール公園、新港中央広場において、花壇の良好な管理を推進
52	民有地における緑化の助成	緑化の助成65件 ※2014~2018年度まで	・建築物の屋上又は壁面の緑化を3㎡以上行う場合の助成(一般助成)の実施 ・屋上・壁面・地面の生物多様性に寄与する緑化を10㎡以上行う場合への拡充助成の実施 ・個人宅、集合住宅の屋上緑化4件、公開性のある地面緑化1件に対して助成を実施
53	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出	・緑の創出100か所 ※2014~2018年度まで ・芝生等の維持管理の推進	・ビオトープや花壇、樹木による植栽など、施設のニーズに合わせた多様な緑の増加:50か所 ・芝生や植栽の維持管理について、費用の一部支援と合わせ、芝生の維持管理についての技術講習会と専門家による訪問指導を実施
54	公共施設・公有地での緑の創出・管理	・緑の創出58件 ※2014~2018年度まで ・緑の維持管理の推進	・市庁舎や鶴見区、西区、保土ヶ谷区の庁舎など、市民が利用する施設等を新たに緑化:16か所 ・各施設において適切な維持管理を実施
55	公有地化によるシンボリックな緑の創出	・緑の創出5か所 ※2014~2018年度まで	シンボリックな緑の創出予定地を1か所取得

方針3 ~しくみづくり~**(1) 生物調査データの継続的な蓄積と活用**

56	生物調査データの一元化 (データバンクの構築) [重点アピール2]	データバンクの構築	・環境科学研究所が保有する生物調査データについて一部公開中 ・環境創造局内で保有する生物調査報告書を庁内で共有(継続) ・産学官の連携により生物情報の取得方法や情報解析方法について検討、意見交換
57	市民参加の生き物調査の推進 [重点アピール2]	推進	小学生対象アンケート調査、こども「いきいき」生き物調査を実施:約160校、12,000名超の児童参加
58	生物生息状況モニタリング調査 [重点アピール2]	継続実施	・帷子川流域3か所における陸域生物調査を実施 ・1973年以来、14回目となる河川生物相調査の冬季調査を実施

(2) 地域特性に応じた保全等の検討

59	地域特性に応じた保全等の検討 [重点アピール5]	推進	・産学民官連携による研究会において、生物多様性の評価手法について検討
----	-----------------------------	----	------------------------------------

(3) 市役所による生物多様性の取組の推進

60	横浜市ISO環境マネジメントシステムへの反映	推進	・区局統括本部ごとに環境行動目標を策定し、職員が環境に配慮した行動を推進 ・総合環境研修を実施し、職員の意識啓発を実施 ・自己チェックおよびヒアリングによる内部監査を実施
----	------------------------	----	---

方針4 ~まちづくりと経済活動~

(1) 生物多様性に貢献するまちづくりの推進

61	エキサイトよこはま22における環境取組の推進	推進	(仮称) 横浜駅西口開発ビル計画において、まちづくりガイドラインを踏まえた環境配慮(省エネ、低CO2を実現する建築計画、自然換気・自然採光の取り入れ、等)
62	みなとみらい2050プロジェクトの推進	推進	選ばれる都市である「世界を魅了する最もスマートな環境未来都市」の実現を目指し、アクションプランを策定(3月)
63	みなとみらい21中央地区の公共空間への緑化推進	推進	みなとみらい3号線の緑化推進
64	京浜臨海部の海づくり[重点アピール4]	推進	京浜臨海部では人工干潟を設置し、生物多様性等に関する取組を展開
65	都心臨海部の海づくり[重点アピール4]	推進	・山下公園前海域で生物による水質浄化能力の回復と向上の検討を民間企業との共同研究により実施 ・世界トライアスロン大会のEXPO等に参加し、水質浄化等の事業のPRを実施 ・汽船道護岸沿いの水域において、アマモの植え付けを実施
66	金沢区野島海岸周辺の海づくり[重点アピール4]	推進	・野島海岸で市民団体と連携したイベントを開催し、海域の生物による水質浄化のPR等を実施 ・市民活動団体と協働した体験プログラムの実施(参加者数:1,176人) ・野島青少年研修センターでの自然体験プログラムの提供(参加者数:6,252人)
67	金沢区白帆地区の海づくり[重点アピール4]	推進	・海の公園、バイサイドマリーナ付近海域での、アマモの播種、花枝採取、自然学習イベントの実施 ・アマモ場の拡大
68	横浜ブルーカーボン事業の推進	推進	・海洋資源を活用した地球温暖化対策の調査・検討 ・カーボン・オフセット、クレジットスキームを検討し、カーボン・オフセットの社会実験を実施 ・事業の広報や、環境啓発イベントを開催

(2) 企業による社会参加の拡大と生物多様性に貢献する経済活動の支援

69	企業の環境行動の広報[重点アピール1]	推進	・エコハマ環境行動フェスタのステージイベントに企業等が参加し、行政と一緒に広報を実施
70	企業とのコミュニケーション	推進	・企業に向け、生物多様性の取組を進めるためのパンフレットをWebページに掲載 ・横浜市環境保全協議会、横浜商工会議所と連携し、「こども『エコ活』大作戦! 2014」を実施
71	産学民官連携による共同研究	推進	・国連大学サステナビリティ高等研究所と改定したbプランに関する情報提供・意見交換 ・産学民官連携による研究会により、データバンクの構築等について検討
72	市民や企業等との連携(地産地消の推進)	企業等との連携:50件 ※2014~2018年度まで	企業等との連携:5件